

いりょうしえんしかちりょうぶ 医療支援歯科治療部

私たちの役割

がん、心血管系疾患、自己免疫疾患(リウマチなど)など様々なご病気をお持ちの方が、安心して手術や薬物療法、放射線療法などを受けることができるよう、多職種医療チームの一員として一人一人の患者様に合わせて歯科治療をコーディネートします。

手術の場合

感染予防



お口の微生物が、“術後肺炎”などの感染の原因にならないようお口をきれいに保ちます。

全身麻酔中の歯の損傷予防



全身麻酔中に歯を損傷することがないようにお口の中の状態を評価し、必要があればマウスプロテクターを作製するなどの対策を行います。

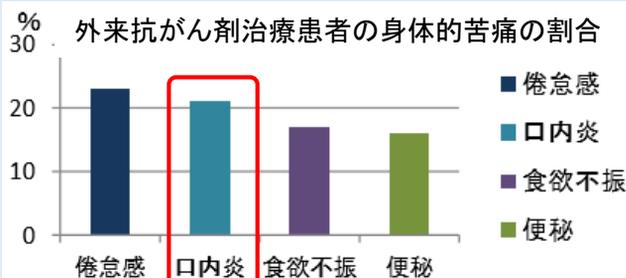
口腔機能の回復、術後回復促進



歯を失い口腔機能が低下していれば、義歯を作製するなどして咀嚼、嚥下などの口腔機能を回復し、経口栄養摂取、術後の回復を促進します。

薬物療法の場合

抗がん剤治療による副作用の軽減



出典: Yamagishi A et al. J Pain Symptom Manage. 2009 May;37(5):823-30.

がん対策加速化プラン資料より



抗がん剤により、口内炎などの副作用が起こることがあります。お口の中をきれいに保ち保湿して、お口のトラブルを軽減します。

骨吸収抑制薬による顎骨壊死の予防

移植治療後の拒絶反応の予防や自己免疫疾患の治療のために用いられるステロイドにより、ステロイド性骨粗鬆症が問題になります。



ステロイド性骨粗鬆症やがんの骨転移を予防するために骨吸収抑制薬(ビスフォスフォネート製剤など)を使用すると、稀に顎骨壊死を発症することがあります。顎骨壊死を予防するため、あらかじめ必要な歯科治療を行い、ステロイドや骨吸収抑制薬使用中のフォローアップを行います。

多職種や地域との連携



多職種医療チームの一員として様々な職種のスタッフと情報共有し、あらゆるご病気を治療中の患者様を歯科的にサポートしています。

院内のみならず、地域の医療機関、行政機関と連携し、患者様がどこでご病気の治療を受けられるとしても安心して治療を受けることができるよう、医療者向けの研修会の開催、テキストや一般向け啓発用ポスターの作成など、様々な取り組みをしています。



受診等にあたってのお問い合わせ

様々な医科治療を受ける中でお口についてご相談等がございましたら、主治医にご相談いただくか、当治療部外来にご連絡下さい。



OKAYAMA UNIVERSITY



岡山大学病院

OKAYAMA UNIVERSITY HOSPITAL